

今回の等級判定基準改正のポイント

- 種畜の血統、能力及び体型に基づき判定された等級が種畜証明書に記載され、種畜の利用者が種畜を利用する場合の目安となる。
- 新たな「家畜改良増殖目標」が策定されたことを踏まえ、これまでの等級判定の基準を、
 - ① 多様な畜産経営を推進する観点から、特色ある家畜についても一定の評価ができるように判定の基準を見直すとともに、
 - ② 判定の基準の数値については、時勢に適した水準とする改正を行う。

例えば...

- ① 我が国では一般的ではない品種についても、血統証明書を有していれば2級以上の評価を得ることが可能となるように改正。

現行の等級判定基準

等級判定基準に定めのない品種は級外
(例)ブラウンスイス種、エアシャー種

改正後の等級判定基準

- 血統証明書を有していれば2級
- 能力検定を受けていれば1級の評価

特色ある家畜による多様な畜産経営を推進
(「家畜改良増殖目標」I.まえがきより)

- ② 評価基準を時勢に適した値に改正。

現行の等級判定基準

豚の評点基準(例:大ヨークシャー)

- 1日増体重 : 878g
- 飼料要求率 : 3.04

肉用牛の評点基準(例:黒毛和種)

- 1日増体重やロース芯断面積等で評価

乳用牛の能力は、泌乳能力で判定

泌乳能力として、乳量、乳脂率、無脂固形分率を評価

改正後の等級判定基準

豚の評価基準(例:大ヨークシャー)

- 1日増体重 : 910g
- 飼料要求率 : 2.9

肉用牛の評価基準(例:黒毛和種)

- 日齢枝肉重量 : 531g
- 脂肪交雑 : B.M.S 5.7

総合指数(*)に基づいた判定

泌乳能力の他、長命連産性にも着目した総合指数による遺伝的能力評価によって判定

家畜改良増殖目標

1日増体重:910g
飼料要求率:2.9

(豚の能力に関する目標数値より)

日齢枝肉重量:531g
脂肪交雑:B.M.S 5.7

(牛の能力に関する目標数値より)

総合指数を用いて、総合的に遺伝能力が高い種雄牛に限定した交配に努める。
(「家畜改良増殖目標」II.乳用牛より)

※ 総合指数:泌乳能力と体型をバランスよく改良することで、長期間着実に共用できる経済性の高い乳用牛を作出するための指数